

メリハリのある生活を送ることができるところが茨高の良いところ

H. K.

上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 進学

ひたちなか市立 田彦中学校 卒業

私は国際教養コースに所属していたため、ネイティブの先生による Practical English の授業や、普通科では受けることのできない哲学やグローバル社会論、アカデミックスキルズなどの国際教養コース独自の授業を受けることができました。英語を使った授業が他クラスよりも多かったのはもちろんですが、ネイティブの先生の授業やオンライン英会話により入学前よりも格段に英語力が向上しました。自分たちで一から内容や構成を練り、クラス皆の前でプレゼンを行ったり、ディスカッションや自分の意見を発言する機会が多かったため、コミュニケーション力や協働力が身につきました。特に、地域課題の解決のために地域の大学生や企業の方と協力してイベントを企画した協働探究ゼミという、実践的な授業が印象に残っています。また、茨高には熱心に受験書類の準備や添削をしてくださったり、親身に相談にのってくださる先生がたくさんいます。そして、茨高は国際教養コースに限らず、大学や予備校などの外部の方から話を聞くことができる機会が多くあります。それだけでなく、特別課外などを通して自分の興味を見つける事ができるきっかけが多いと感じました。

高校2年次に行ったニュージーランド留学が、茨高の3年間の中でも人生の中でも最も濃く、成長することができた半年間でした。留学当初は、英語が分からないため会話もできず、友達にもホストファミリーにも馴染むことができず泣いてばかりの毎日でした。しかし、自ら行動を起こし、挑戦したことで、多くの人との出会いや環境に恵まれることができました。悩む前に、「とりあえずやってみる」のチャレンジ精神で行動を起こし、環境を変えていくことの大切さを学び、素敵なホストファミリーや友達との出会いがあった半年間は、私の一生の財産です。この経験から、帰国後も様々な事に挑戦し、確実に成長することができました。

茨高は、同じような夢や目標を持った仲間が多く、互いを刺激し合い、高め合いながら学ぶことができる環境が整っています。そのため、自分自身も高い目標を持ち、親切な先生方のご指導の下、真剣に勉強に取り組むことができます。さらに、勉強だけでなく、文化祭やクラスマッチなどの行事も全力で楽しみ、高校生らしい最高の思い出を作ることができます。メリハリのある生活を送ることができるところが茨高の良いところだと思います。国際教養コースは、高校1年のうちから一貫生と高入生が同じクラスになりますが、一貫生、高入生関係なくすぐに仲良くなることができます。私は、高入生として入学しましたが、他クラスの一貫生とも仲良くなることができ、たくさんの思い出を作ることができました。

国際教養コースで培った主体性やコミュニケーション力を活かして、大学進学後は、急速に進んでいるグローバル化が及ぼす正負の面や、東南アジアの発展について学びたいと考えています。これらを学ぶ環境として最適であると考えた上智大学総合グローバル学部で、留学や海外ボランティア、インターンなど様々な事に挑戦しながら充実した大学生活を送りたいです。そして、将来は国際社会に貢献できる人になりたいです。